



第2回指名強化講習会開催！

8月26日(土)・27日(日)に行われる天皇杯・皇后杯全日本選手権大会 静岡県代表決定戦を使って第2回指名強化講習会が行われました。研修会ではクルーでゲームの映像を確認→判断が難しかったり、どの様に対応したら分からなかったりしたケースをあげる→トッリーグ担当のレフリーとケースを分解・解説という流れで映像を使ってディスカッションしながら行われました。指名強化審判員が挙げてきたケースについて皆さんに主に出たことを共有したいと思います。

判定 Play Calling

やっぱり判定が合っている・合っていないが1番気になる所!!

正しく判定するために・・・Referee DFが必要です。OFのリアクションで判定するのではなくDFがリーガルかイリーガルかを見極め判定することです。そのためにはベーシックなメカニクスを実践できることとプライマリーの理解もかなり大事です。誰が一番長くプレイを見ていて判定するのかを考えます！

コミュニケーション Communication

選手やコーチは審判の判定について意見を聞きたい時があります。

聞かれたことに対しては、嘘やごまかしは厳禁。判定したままを素直に伝えることが大切です。Short & Clearにコミュニケーションをしていきます。ただし、ファウル・ファウルじゃないなどの平行線になる時は断ち切ることも必要です。

ゲームフローの把握 Game Flow

実はこれが頭に入っているとゲームが進みやすい。

例えばブロックorチャージのケースなどで、先にAチームがブロッキングであったら似たようなケースで微妙であってもBチームにブロッキングを判定します。そうすることでゲームに平等性が生まれてきます。



PGCは必須です!!
ゲームプラン・メカ等の確認します!!



ゲーム終了後はA級からのアドバイス!!
前回と比べて良かったところや修正したい箇所などを具体的に話します。



全ゲーム終了後、グループに分かれてトッリーグを担当するS級と映像研修。
判定内容よりも、ポジションやゲームフローの把握について追及しました。



女性審判講習会報告 担当:杉山千華 社会人 A級

8月5日(土)日大三島高校にて女性審判講習会が行われました。静岡県内女性審判員の普及と強化が必須となってきます。活動報告を見ていただき1人でも多くの方が次の講習会に参加していただけることに期待しています。

参加者の様子

- ・みんなが身を乗り出して講師の話を聞いてくれた
- ・講習生同士の審判を見たりディスカッションに参加してくれた
- ・同じグループで試合を見たりディスカッションすることで和やかな雰囲気だった
- ・意欲的に声を掛けてくれたり、気づきがあった方もいたので審判活動に前向きな気持ちになれたかなと感じる場面もあった
- ・悩みを話したり、質問したりと積極的なコミュニケーションが見受けられた

指導内容

- ・すぐに修正できること。例えばポジションや見方、TOLレポートなど
- ・失敗を恐れずトライすること。まずは自分の判定を信じて自信を持ってコール
- ・オヴィアスをしっかり判定する
- ・アピールに対して不安にならないために、POCとネイチャーを明確に持つ
→そのためのポジションアジャスト、レフリーディフェンス、オープンアングルなどを活用

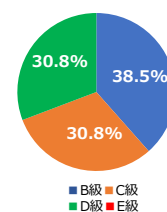
参加者のコメント

1人での参加になるので最初はとても心細く不安もありました。私はまだまだ勉強不足で経験不足なので、先輩審判員のみなさんの素早く正確な笛を間近で見させてもらって、こんな風になれたらなあ、とても勉強になる1日になりました。

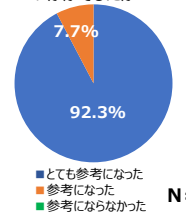
心が折れそうになることもありますが、1つの試合でどんなことでもいいから何か1つの目標を達成していくこと。というアドバイスをいただいたので、コツコツと努力し少しずつ上達していけるように頑張っていきたいと改めて思いました。

勇気を出して講習会に参加して良かったです。ありがとうございました。

参加者
ライセンス



ディスカッションを行って
いかがでしたか?



N = 13



ゲーム終了後は映像を見てポジションアジャストやアングル確保について確認とアドバイス





全国中体連参加活動報告 報告者:美澤将史 U-15 B級

○対戦カード・割り当て

日にち	チーム	vs	チーム	CC	U1	U2
8月22日	美川 (香川県)	vs	昭栄 (佐賀県)	仲地祥吾 (香川県)	美澤将史 (静岡県)	速水蘭磨 (奈良県)
8月22日	大里 (沖縄県)	vs	京都精華 (京都府)	柏原琢磨 (徳島県)	荻野健 (山梨県)	美澤将史 (静岡県)
8月23日	郡山第三 (福島県)	vs	竜操 (岡山県)	穂川苑子 (群馬県)	横井尚子 (三重県)	美澤将史 (静岡県)

研修会テーマ「コール・ザ・オヴィアス」

「誰が見ても明らかなもの」に判定がされることが大事であり、それがスムーズなゲーム運営や怪我が起きないことに繋がっていくということを改めて学びました。「コール・ザ・オヴィアス」を実践していくために、「プレー・コーリング」の正しい理解や、「ベーシックなメカニクス」の徹底など、当たり前のことを積み重ねていくことが、重要であることも学ぶことができました。

他にも、「処置ミス0」についても大きな話題となりました。「処置ミス」をしないために、何を意識していくかを映像を通してディスカッションしたり、起こってしまった場合にどうするかを考えたりしました。

ゲームに入るにあたって

中学3年生の最後の大会であり、一所懸命な姿に負けまいと力を出していくという気持ちで臨んでいこうと共通理解を図りました。全中という舞台は、大きな注目が集まり、会場にお客さんを入れて行う全国大会です。実際の担当ゲームでは、講習会であったように、より明らかなものをコールするように心がけました。どのゲームも3人で協力して運営することができたと感じています。また中学生のレベルが上がリ、見応えのあるプレーも多くあったので、審判員としてもバスケットボールの理解を高めたと思いました。

担当ゲームを終えて・・・

ポストゲームでは、強く見せようとするあまり、サイボーグのようだと言われました。もう少し表情や目線なども工夫して「伝えたい人は誰なのか」を意識するとより良くなっていくというアドバイスをいただきました。また、プライマリーの審判が何を判定するのかを明確にすることが「良いクルーワークになっていく」ということも言われたので、よりそうした意識をもって審判活動を行っていきたいと思いました。

井出審判長をはじめ、香川全中派遣について色々な協力やサポートをしていただいた県内外の審判員の方に感謝すると共に、今後の審判活動を頑張りたいと思います。ありがとうございました。

余談ですが・・・【うどんについて】

有名店は朝6時から行列でした。ぜひうどんを食べたいと思い、調べていったお店は「こだわり」が強いお店で、注文してから1時間後にうどんができました。一緒に行った方の「明太かま玉うどん」には明太子が入っていませんでした（笑）色々な経験ができた香川全中でした。



8月26日(土)の天皇杯・皇后杯静岡県予選の時に、藤枝明誠の選手がバラバラに散らばっていたトイレのスリッパをキレイに整頓していました。誰もやりたがらない、やらなくても良いことを何の抵抗もなく気持ちよく整頓していた姿を見て同じバスケット人間としてとても感心し、心から応援したいという気持ちになりました。

たまたま居合わせたのが藤枝明誠の選手であって他のチームの選手も同じことをしているかもしれませんが、静岡に素晴らしい行動ができる選手・チームがいるということに誇りを感じました。

素敵な行動を見た井出は、いつも以上にスリッパをきれいに揃えてトイレを後にさせていただきました・・・

